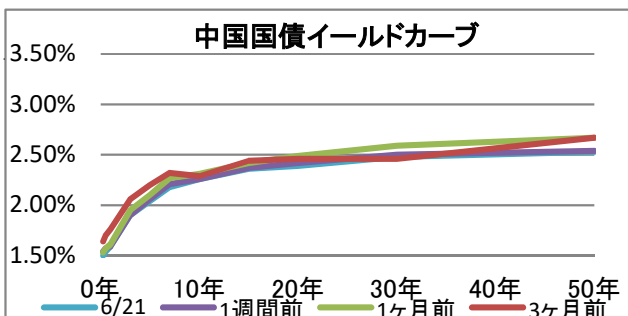
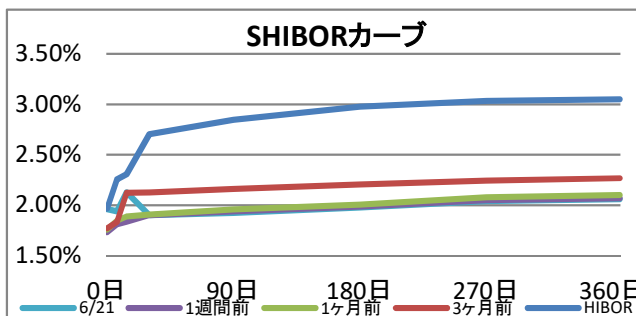


基準レート		2024/6/21	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1196	+0.0045
	JPY/CNY	4.5182	-0.0421
SHIBOR	3M	1.9230%	-0.0160%
国債利回り	10年	2.26%	+0.00%
上海総合指数		2,998.14	-34.49



(1) 概況

国際金融市場では、ソフトランディング期待を裏付けるように予想を下回る経済指標が続いたことから、債券利回りは低位で推移し、株式市場も半導体株高を背景に最高値を更新する堅調さを維持。外為市場では引き続き小幅な値動きが続いたが、日本円は米財務省の半期為替報告で日本の監視リストへの追加が報じられた後に一段と下落し、160円目前まで円安が進行。

中国金融市場では、金融当局から投資家保護を目的とする証券市場改革や加熱する債券投資に対する警告が発せられる中で、株式市場は3カ月ぶりに上海総合が3,000の大口を割り込み、債券市場では信用債中心に利回りの低下が続き、外為市場では当局の元安抑制姿勢が続いているにもかかわらず、季節的なドル需要と国外投資需要により1ドル=7.26台に元安が進んでいる。

中国では、李強総理がAPAC歴訪で各国と貿易拡大や新工ネ分野等での提携拡大方針を示し、BRICS加盟意向を示したマレーシアには秩序ある多極の世界に向けた協力を提案。外交部は、G7首脳宣言の過剰生産批判に反発し、商務部は、EUと中国製EVに対する追加関税措置に関して協議を、EU産豚肉等に対する反ダンピング調査を開始し、ロシア関連の中国企業制裁では英国を非難。金融関連では、上海で「陸家嘴フォーラム」が開催され、IMFの上海地域センター開設公表に続き金融当局トップ等が講演。中国人民銀行・潘行長は、金融機関による過度の債券購入リスクを指摘し、公開市場操作で国債売買を増やす方針を示し、国家金融監督管理総局・李局長は、保険業界の発展推進により中国式現代化に貢献する方針を示し、証監会・呉主席は、資本市場発展の課題として、新しい質の生産力促進、上場企業の投資価値向上、制度整備等による投資家保護を指摘。中国人民銀行は、利下げが国内外の制約に直面との論評を系統紙に公表し、最優遇貸出金利の据え置きを決定し、科学技術イノベーション分野向け再貸出により科学技術系企業への支援を強化する方針を示した。証監会は、株価対策の一環として、空売り規制の継続や違法行為取締り強化の方針を示し、シンガポール金融管理局の間では、ETFコネクタやグリーンファイナンス分野での協力強化で一致し、新興ハイテク企業向け市場「科创板」の発展を支援する措置を公布。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日80億元、MLF期日2,370億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金700億元に対して、リバースオペ3,980億元、MLF1,820億元の実施により、2,650億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・鉱工業生産 (5月) は前年比+5.6% (4月、同+6.7%) と伸び低下。過剰生産が指摘される新工ネ車や太陽光電池が高い伸びを維持する一方、セメント等の建設資材の前年割れが続き、携帯電話の伸び鈍化や乗用車の前年割れ転化が全体を押し下げ。
- ・小売売上高 (5月) は前年比+3.7% (4月、同+2.3%) と、前年が高水準であったにもかかわらず、飲食や5月の労働節休暇日数の前昨比増加等を主因に伸びが加速。ただし、不動産関連や宝飾品、自動車の前年割れは続いている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9600%	1.8000%	1.8200%	
1W	1.9390%	2.1000%	1.8000%	1.8000%
2W	2.1280%	2.1700%	2.3000%	1.9200%
1M	1.9000%	2.2000%	2.0000%	1.9200%
3M	1.9230%	2.9000%	1.9300%	1.8800%
6M	1.9770%	2.2300%		1.9100%
9M	2.0400%			2.0100%
12M	2.0590%	2.1000%		2.0400%

金融システム全体では資金余剰となる中、四半期末に向けて市場取引が手控えられる状況に対し、中国人民銀行は長めの供給を絞り、短期の供給を増やす調整にシフトする対応を進めているものの、月末越え資金供給への市場の信頼感に変化はなく、ターム物の調達ニーズは限定的で、四半期末を越える2週間物の取引が2.1%前後で活発に取引されている。

NCD市場でも、四半期末への懸念は限定的な状況が維持されており、金利水準は低位で安定している。ターム物金利は、1カ月は1.9%前後、3カ月も1.8%台後半、6カ月は1.9%台前半、1年も2.0%台前半で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.42%	5.43%
1W	5.65%	5.70%
1M	5.70%	5.75%
3M	5.75%	5.80%
6M	5.75%	5.85%
12M	5.85%	5.95%

中国国内市場では、取り急ぎは見られないものの、四半期末が近づくにつれてビッドが強含む状況となり、ターム物の出合いは限定的ながら、金利水準は、1カ月が5.7%前後、3カ月が5.7%台半ばで取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.50%		1.83%	1.97%	2.13%
6M	1.54%		1.89%	1.98%	2.13%
1Y	1.59%	1.75%	2.01%	2.03%	2.19%
3Y	1.90%	1.97%	2.12%	2.17%	2.31%
5Y	2.04%	2.17%	2.19%	2.30%	2.45%
10Y	2.26%	2.38%	2.40%	2.52%	2.92%

米国債券市場は、前週に利下げ期待が織り込まれ、週半ばに休日のある週とあって、弱い経済指標と利下げに肯定的なFRB高官発言への反応は限定的で、スピード調整的な展開となり、利回りは小幅上昇。中国債券市場では、歴史的低水準にある利回りが四半期末にも関わらず低下を続ける状況に対して中国人民銀行の潘行長が改めて警鐘を鳴らす発言をしたことから利率債利回りは下げ渋る展開となった。この結果、10年米国国債利回りは4.26%（前週末比+4bp）に小幅に反発し、10年中国国債利回りは2.26%（同±0bp）で下げ渋り、利回り差は200p（同+4bp）へと小幅ながら拡大に転じた。

中国債券のイールドカーブは、世界的な債券利回りの低下と国内経済の先行き不透明感を背景に、歴史的な低水準（債券価格は高値）で低下傾向が続いているものの、中国人民銀行行長の警告的発言や四半期末を迎えていること等から、短期利率債と信用債に選別的に買いが集まる結果となり、利率債は短期のみ、信用債はカーブ全体が低下してフラットニングが一段と進み、クレジットスプレッドは短期で拡大し、長期では縮小が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1 M	-231.5 / -231.0
3M	-729.0 / -727.0
6M	-1,484.0 / -1,480.0
9M	-2,219.0 / -2,217.0
12M	-2,934.0 / -2,932.0

対ドル基準レートは7.1196と前週末比+45pipsのドル高元安、対円基準レートも4.5182と同-421pipsの円安元高と、対ドルではやや元安寄りとの評価もあるものの、依然として大幅な元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、基準値の元高設定による実質的に元安への変動幅が限定的な中、季節的なドル需要や国内投資資金の流出をこなしながら、7.26台の小幅なドル高元安に止まる小幅な値動きに終始。

先物は、米国の利下げ時期を含む先行き不透明感から、1年物でも-2900台半ばでの小幅な値動きに終始。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.90%		1.69%
6M	1.88%	1.92%	1.67%
9M	1.87%	1.97%	1.66%
1Y	1.85%	1.96%	1.64%
3Y	1.88%	1.99%	1.75%
5Y	2.01%	2.12%	
7Y	2.12%	2.23%	
10Y	2.22%	2.33%	

金利スワップ市場では、債券利回りの低下が続いているものの、スワップ金利は四半期末を控えた短期の基準金利の上昇から1年以内が小幅に上昇している以外に概ね変化なく、債券利回りとの差であるスワップスプレッドは短期を中心に拡大に転じている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。